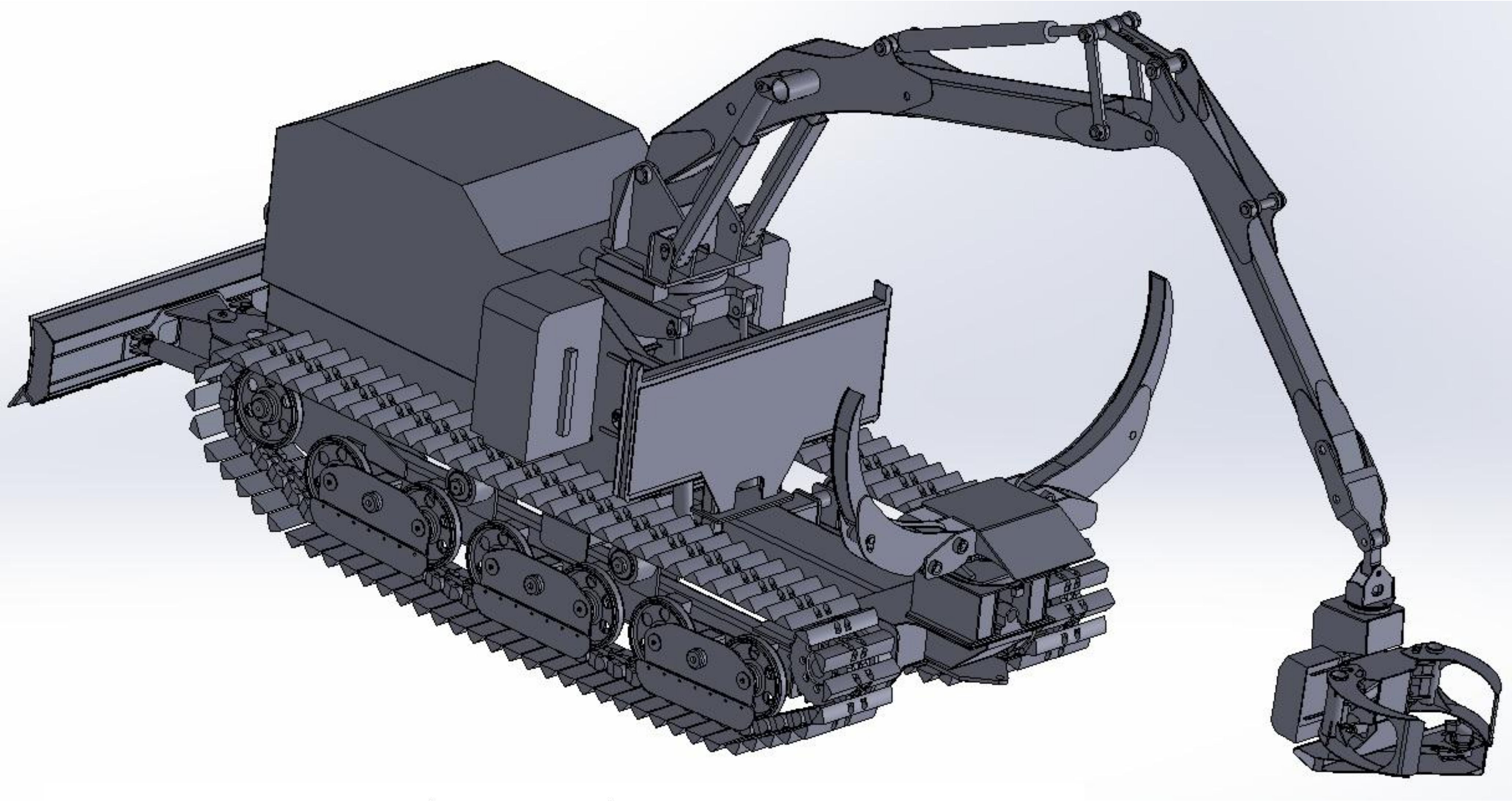


■ 事業の目的

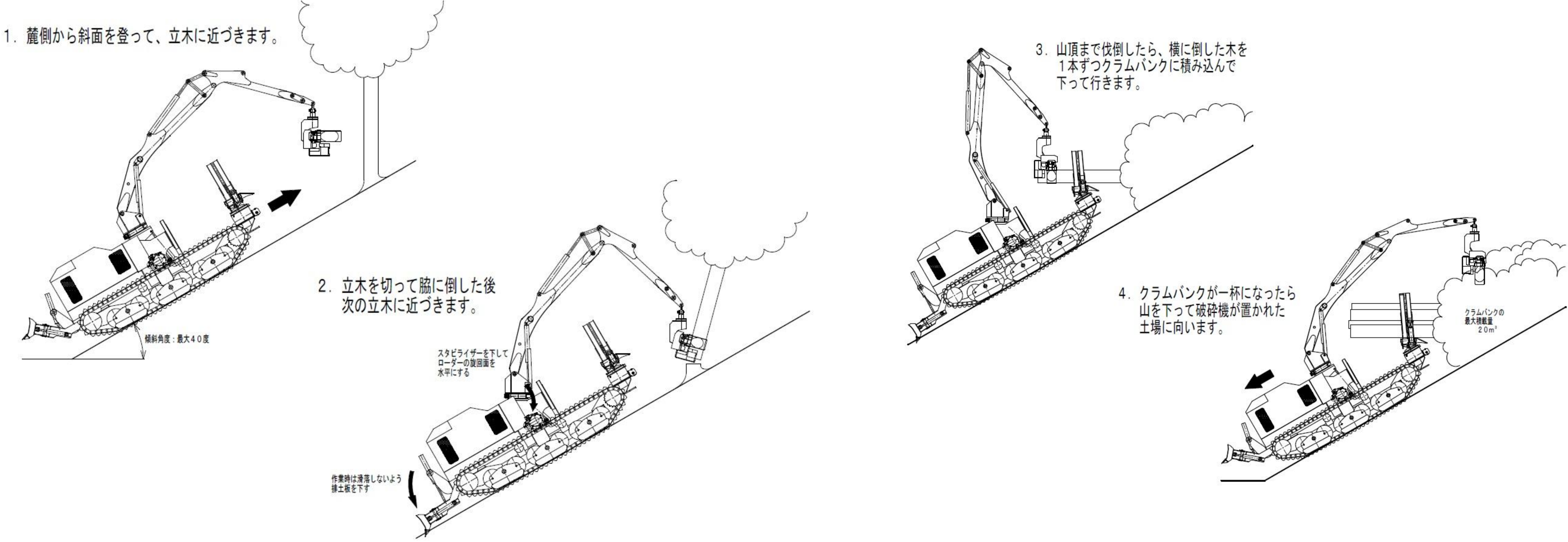
木質バイオマス発電に係る事業の持続性に資するためには、バイオマス燃料の安定的・効率的な供給システムの構築が必要である。しかし、現在の供給システムでは木々の伐採からチップーへの投入までの行程に多くの人手関わっていて効率が低く、さらに林業では労働災害が最も発生しやすい工程でもあって、作業効率の点だけではなく、作業者の安全性からも問題となっている。

上記問題を開設するため、作業者 1 人 1 日の木材搬出量を現状の 5 ～ 1 0 m<sup>3</sup>から 5 0 ～ 8 0 m<sup>3</sup>に大きく向上させると共に、作業者の死傷事故を 0 とする無人全木材伐倒・搬出車両「ティラノロボ」を開発する。

■ ティラノロボの概要



| 諸元   |       |                |
|------|-------|----------------|
| 車体寸法 | 長さ    | 7540mm         |
|      | 幅     | 2400mm         |
|      | 高さ    | 2920mm         |
|      | 最低地上高 | 600mm          |
|      | 履帯幅   | 600mm          |
|      | 履帯接地長 | 2700mm         |
| 車体重量 |       | 16000kg        |
| エンジン | 出力    | 129.4kw(175PS) |
| 走行装置 | 方式    | 油圧式            |
|      | 駆動力   | 16000kgf       |
|      | 最高速度  | 14km/h         |



■ 2025年の成果

本開発機の全体設計・機械部品の製作図面作図を行った。2026年度から機械部品の製作及びソフトウェアの開発を開始。

■ 今後の取組

- 2026年度 開発機を完成させて、基本動作確認試験と調整作業まで実施
- 2027年度 全国 5ヶ所（北海道・秋田県・栃木県・岡山県・大分県）の林地で評価試験を実施

■ 実用化の見通し

事業終了後、全国での評価試験で得られた知見をフィードバックして改良を行った上で2028年度第 3 四半期以降に受注生産を開始する予定。その後 3 ～ 4 年をかけて量産体制を整えていく。  
販売価格は現在のところ 5 千万円を想定。